

人と魚と海のネットワーク
 香川県漁連ホームページ
<http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/>
 E-mail:gyoren@kagawa-gyoren.or.jp



JF 高松市北浜町8-25
 TEL 087-825-0350
J F 香川漁連 FAX 087-851-0699

平成15年度漁協監事研修会開催

平成15年度の役員研修として「漁協監事研修会」(主催:香川県漁連、香川県信漁連)が、8月27(水)午前10時より漁連会館6階大会議室において、県下漁協の監事、漁協随員職員、漁連・信漁連関係者約120名の参加者を集め開催された。

今回は、講師に(株)漁協経営センター取締役相談役田尾直之氏を招き、午前中は監事の職責、午後は3時まで監査のポイントを中心に講義がなされた。

長時間であったが、参加者らは熱心に講師の説明を聴き、質疑の後閉会した。



講師の説明を熱心に聴く参加者

「水産物の関税撤廃断固反対！」

全国漁業者代表2千人がデモ行進

「WTO日本提案実現!全国漁民大会」が東京千代田区の日比谷公会堂で、全国の漁業関係者2千名を集め開催され、(1)水産物の関税撤廃断固拒否(2)漁業補助金の一律削減・撤廃の阻止(3)漁業・漁村社会の存続を脅かさないルールの実現の3点を満場一致で決議し、議事終了後には参加者全員が農水省や経済産業省のある霞ヶ関に向けてデモ行進を行った。また、大会終了後代表が平沼経済産業大臣、川口外務大臣らに決議事項の実現を求めて請願活動を行った。本会からは、服部会長をはじめ東京支所の職員が大会に参加した。

第十四回全国豊かな海づくり大会「海環境保全講演会」開催

第24回全国豊かな海づくり大会高松市実行委員会(会長 増田高松市長)は全国豊かな海づくり大会プレ企画として「海環境保全講演会」を9月4日高松市役所において開催した。

講演は、広島大学大学院生物圏科学研究科 上 眞一教授を講師に「瀬戸内海の生態系変化:豊かな海に忍び寄るクラゲの脅威」という演題で、水産団体・漁業関係者をはじめ市民、県・市職員、実行委員会関係者など約150名の参加を得て開催された。

海環境保全という言葉からは、排水規制、廃棄物の投棄防止、干潟の保全といったことが思い浮かぶが、「豊かな海に忍び寄るクラゲの脅威」という演題は、漁業者の身近な操業上の大問題でもあること、クラゲに関する情報が乏しいことなどから高松市外や企業からの参加者もあり講演に対する関心の高さが伺われた。

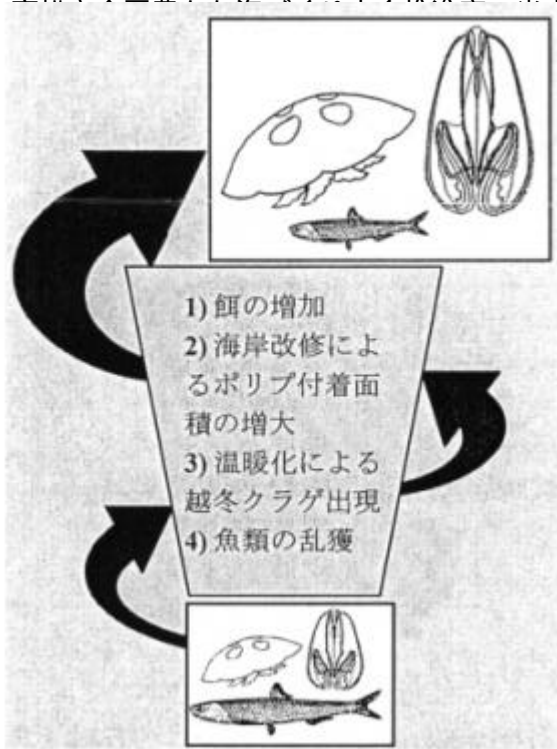
県内でもミズクラゲの増加により底曳網漁業や差し網漁業の操業に支障をきたすことが多くなっている現状から、海域ごとの状況説明、増加要因、駆除対策の困難さ及び卵や稚子の捕食被害などについて写真や、図表を使った講師の説明を熱心に聞き入っていた。



講師に質問する参加者

また、クラゲ増加の要因のひとつとして、乱獲による漁業資源の減少が考えられること、クラゲを捕

食する魚種としてマナカツオ、イボダイ(シズ)、カワハギ、サバ等を紹介。捕食魚の資源保護がクラゲ増加の抑制に効果があることが示唆された。現在取り組んでいる多面的資源管理型漁業推進の上でも有益な講演であった。



「かがわ地産地消費協力店(仮称)募集中」

かがわ地産地消運動推進会議(事務局: 県農政水産部農政課)では、県産農林水産物を積極的に販売する小売店や、利用する飲食店などを募集、登録し、消費者に本県で生産される豊富な農林水産物を知ってもらうとともに、実際に食する機会を増やすことなどにより、県産農林水産物の消費拡大につなげることを主な目的として、かがわ地産地消協力店(仮称)を募集しています。

1. 区分と申込資格

- (1) 県産農林水産物販売店
県内に所在する量販店、小売店、百貨店など
- (2) 県産食材利用店
県内に所在するホテル、旅館、飲食店、社員食堂など

2. 登録要件

- (1) かがわ地産地消推進員であること。
- (2) 県産農林水産物の販売・利用促進のために自主的な取り組みを行うこと。
- (3) 県産農林水産物の良さを利用客に積極的にPR

Rすること。

- (4) 地産地消ホームページなどにおいて、(2)や(3)等の取り組みを県民に情報提供すること。

3. 申込方法等

(1) 申込方法

所定の申込書(事務局に問い合わせ下さい)により、かがわ地産地消推進会議事務局あて申込下さい。

(2) 申込の受付と登録

平成18年3月までの間、随時受け付けます。

ただし、登録のための審査を年4回(6月、9月、12月、3月)行いますので、期間を区切って登録することになります。審査は、審査実施月の前月25日までに申込のあったものについて行います。

4. 推進会議などによる支援

(1) 地産地消関連用品の無償貸与

たとえば、登録証、ステッカー、のぼり、コーナー表示看板、商品情報ポップなど

(2) 協力店の普及宣伝

地産地消ホームページ、協力店ガイドブック、地産地消推進委員会報誌、地元新聞などの活用

(3) 地産地消関連情報の適宜提供

5. 問合せ・申込先

〒760-8570 香川県高松市番町4丁目1番10号

香川県農政水産部農政課

TEL: (087) 832-3396

FAX: (087) 835-9173

メール: nouki@pref.kagawa.lg.jp

「地産地消とは?」

地産地消とは、その土地で採れたものを、その土地で消費すること。

即ち、土地の気候風土に合った農林水産物を新鮮なうちに食べる。しかも、作る人と食べる人が、お互いに顔が見える関係で、消費者が安全性を自分の目で確かめられる。

9月はアイドリング・ストップ強化月間です

各種団体、国、県、市長で構成する「エコライフかがわ推進会議」では「アイドリングせんけんkagawa」を合言葉に、9月を強化月間と定めて、

アイドリング・ストップ県民運動を広く呼びかけます。

1. 趣 旨 大気汚染や地球温暖化の防止、石油資源の節約を図るため、アイドリング・ストップ運動への参加を県民や事業者等に広く呼びかけ、身近にできるエコライフの実践活動を展開します。

2. 主 催 エコライフかがわ推進会議(会長香川県知事)

3. 期 間 6月(環境月間)から12月(地球温



4. 9月の取組み

エコライフかがわ推進会議会員による率先実施業務用車にステッカーを貼付し、アイドリング・ストップを率先して実施

実施例: トラック協会

…啓発パトロールを実施
バス協会

…一部路線から率先実施
県・市長…全ての公用車に
貼付するとともに住民への啓

発

関係団体等と連携・協力した啓発活動の実施
アイドリング・ストップ運動の啓発商品
(ミニタオル・ティッシュ、ステッカー、
チラシ)の配布などを行います。

・交通安全協会等による交通安全キャンペーン

・自動車運転免許の取得、更新時

・東讃県税事務所の軽油抜取調査

・日本自動車販売協会連合会香川県支部と
(社)日本自動車連盟(JAF)香川支部の協
力のもと、新車購入時に「エコドライブ
宣言」をした方

運動の参加希望者(個人、事業所)にはステ
ッカーを配布します。

5. 問い合わせ先 エコライフかがわ推進会議
事務局(香川県 環境・水政策課内)担当 福家

TEL: 087-832-3215

FAX: 087-834-9605

エコライフかがわ推進会議は、循環型社会の構築
など、環境への負荷の少ない社会づくりに向け
て、各種団体、国、県、市町が互いに結集・協力
して環境保全活動を実践・支援していくための組

人と地球のためにーアイドリング・ストップのすすめー ドライバーが地球のためにできること

駐停車時にはエンジン・ストップを心がけましょう。

